

議会だより

あまぐち

No.213

平成29年10月27日

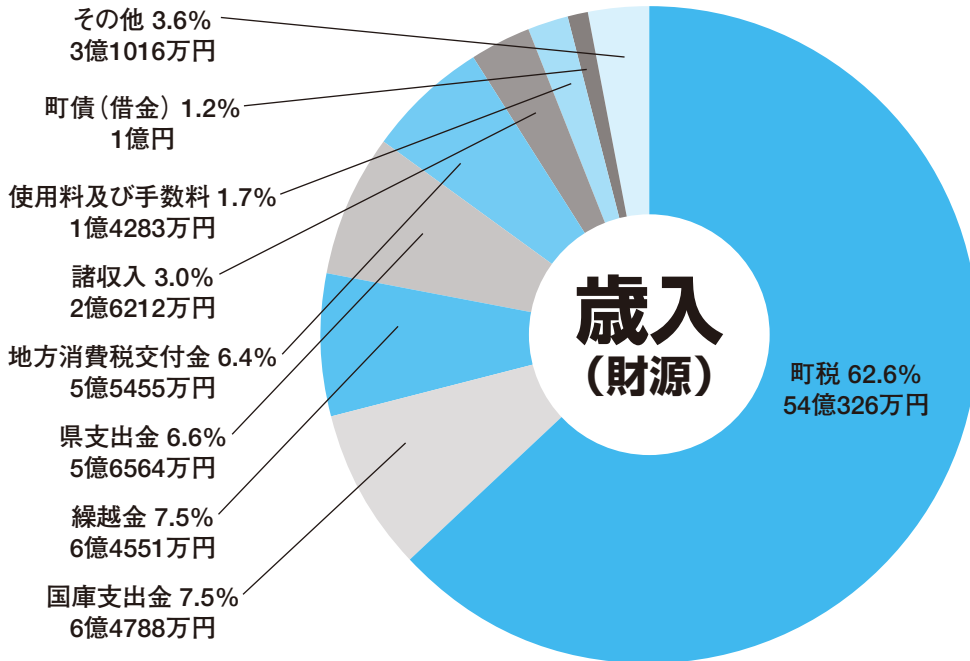
発行：愛知県大口町議会



| | | | |
|------------|---------------|------------------|-----|
| 平成28年度決算認定 | 法人町民税 | 税率引下げで大幅減 | 2～3 |
| 一般質問 | 公共施設のトイレの洋式化を | | 8 |
| | 五条川 | 越水などの被害を食い止める手段を | 10 |
| 集中豪雨 | 被災現場を視察 | | 16 |

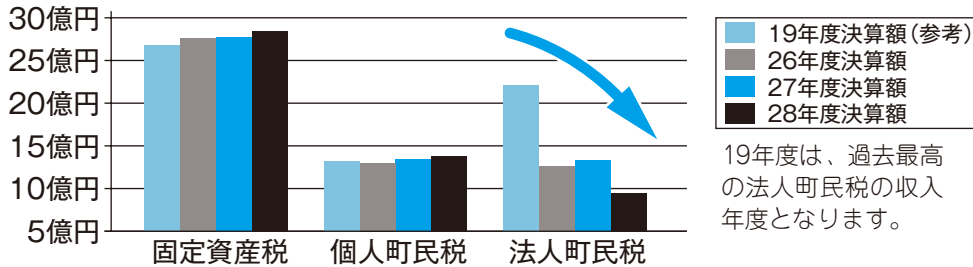
平成28年度決算を認定

**一般会計歳入決算額 86億3195万円
(前年比3億2069万円減)**



法人町民税 税率引下げで
3億9千万円の大減

税目別収入の比較



9月議会で決まった主要内容

9月定例会を、9月1日から27日までの27日間の会期で開催しました。

○町提出(12議案・1認定) 私法上の債権の放棄に関する条例の制定、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定、平成29年度の補正予算、教育委員会委員の任命など

採決の結果

【賛成多数で可決】

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正、平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

【全会一致で可決】

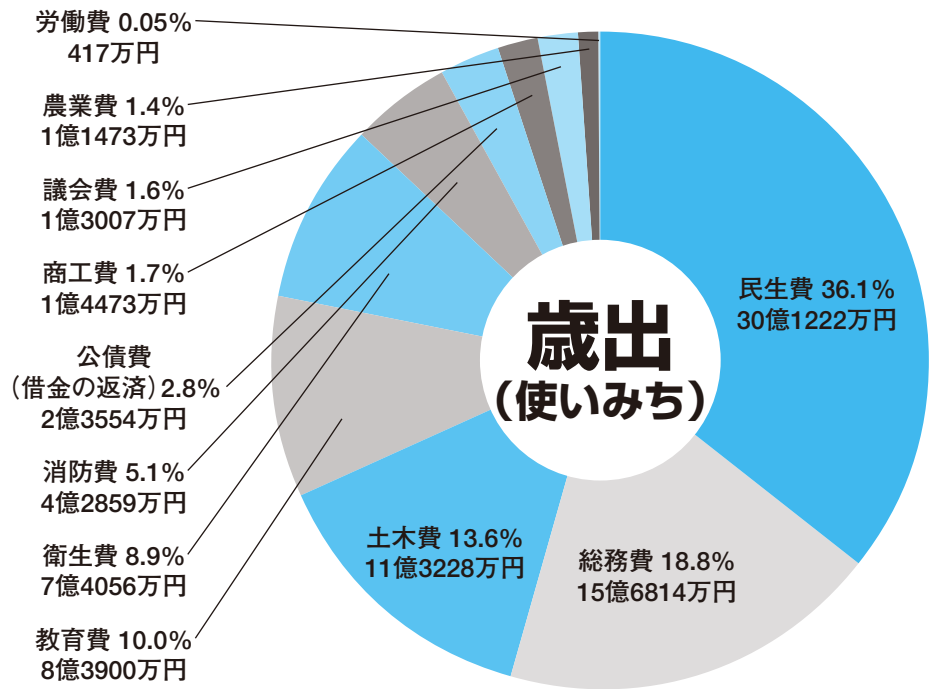
私法上の債権の放棄に関する条例の制定、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定、平成29年度の補正予算など11議案

○請願 採択の結果 【採択】 1件

○陳情 採択の結果 【採択】 3件 【聞き置く】 1件

一般質問では、8議員が町政全般にわたり質問しました。

一般会計歳出決算額 83億5003万円 (前年比4291万円増)



歳入は3億2069万円(前年比3.6%)減少しました。主な要因は、法人町民税の3億8927万円(前年比29.2%)の減少で、これは、法人税割の税率が12.3%から9.7%に引き下げられたことなどによるものです。

歳出は4291万円(前年比0.5%)の増加にとどまりました。公園整備事業等により、土木費が1億8861万円(前年比20.0%)増加しましたが、整備2年目の北保育園の建設工費が、前年比で1億1178万円減少したことが主な要因です。

■平成28年度会計別歳入・歳出決算額

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引額 | |
|------|------------|------------|-----------|--------|
| 一般会計 | 86億3195万円 | 83億5003万円 | 2億8192万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 23億8519万円 | 23億6501万円 | 2018万円 |
| | 介護保険 | 10億2576万円 | 10億1096万円 | 1480万円 |
| | 公共下水道事業 | 8億4762万円 | 8億4762万円 | 0万円 |
| | 後期高齢者医療 | 2億6096万円 | 2億5972万円 | 124万円 |
| | 農業集落家庭排水事業 | 2837万円 | 2837万円 | 0万円 |
| | 土地取得 | 1827万円 | 1827万円 | 0万円 |
| | 社本育英事業 | 806万円 | 90万円 | 716万円 |
| | 国際交流事業 | 655万円 | 655万円 | 0万円 |
| | 小計 | 45億8078万円 | 45億3740万円 | 4338万円 |
| 合計 | 132億1273万円 | 128億8743万円 | 3億2530万円 | |

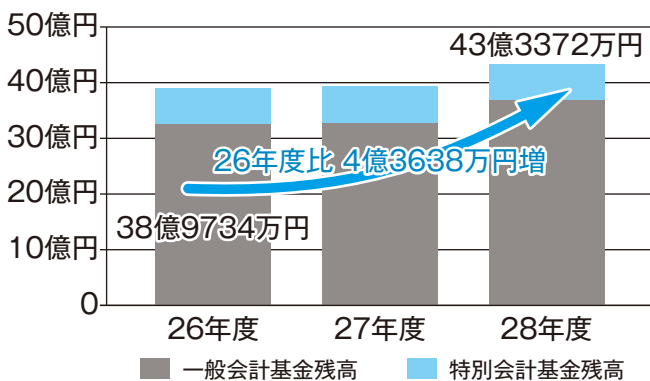
■財政分析指標の推移

| | 19年度 (参考) | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------------|--------------|-------|-------|-------|
| 財政力指数(単年度) | 1.61 | 1.18 | 1.23 | 1.27 |
| 経常収支比率 | 61.2% | 74.4% | 71.1% | 76.9% |
| 実質収支比率 | 9.1% | 3.6% | 8.1% | 3.5% |
| 公債費比率 | 1.7% | △1.4% | △0.7% | △0.6% |

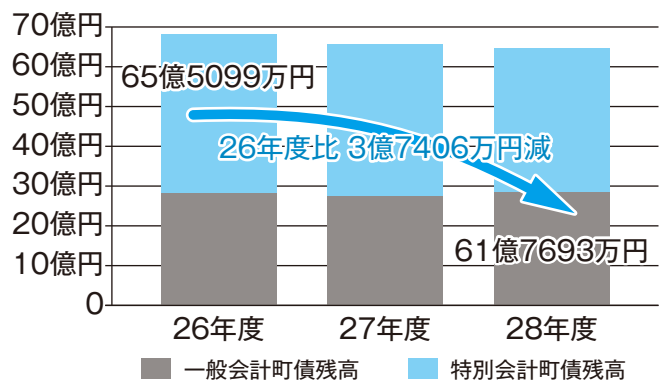
健全な状態です

財政力指数とは、地方自治体の財政力を示す指数。過去3年間の平均で1未満になると、交付団体となります。

■基金(預金)



■町債(借金)



※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合もあります。

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

私法上の債権の放棄に関する条例の制定

町が有する私法上の債権の整理のため、条例を制定する。

問 債権放棄の対応の仕方は。時効の期間は。

答 時効の援用が見込まないものが前提で、個々の事案に応じて対応する。時効は、債権の種類により異なる。

私法上の債権

学校給食費など、自治体が扱う債権のこと。

時効の援用

債務者が、時効のため支払う必要がない旨の意志表示をすること。

地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定

建築基準法の規定に基づき、地区計画の区域内における建築物に関する制限を定めることに伴い、条例を制定する。

問 地区計画区域内の萩島地区のメリットは。

答 健全な都市環境の確保が目的。用途が制限され、区域内に遊技場などは建築できない。

平成29年度一般会計補正予算

〔保育園の入園状況〕

問 途中入園を含め、保育園の入園状況は。

答 予定どおり受け入れており、現在、待機児童はいない。

〔住宅の耐震改修アンケート〕

問 アンケートの目的は。

答 本年度、耐震改修の補助金メニューに耐震シエルターと耐震ベッドを追加した。耐震診断・改修事業の基礎資料とするため、昭和56年6月以前に建てた住宅の所有者を対象に実施予定。

〔農業用排水施設維持工事〕

問 大雨で破損した施設の修繕とのことだが、その内容は。

答 土地改良事業から50年近く経った地域もある老朽化した用排水路の修繕を行いたい。

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算

問 高額医療費の増加は、今後の国保税の算定にどの程度影響するのか。

答 来年度から、愛知県が国保財政の運営主体となる。県は、各市町村の医療費水準ごとに納付金を算定。納付金の増加が、町の国保税に影響する。

平成29年度農業集落家庭排水事業特別会計補正予算

〔破碎機モーター等の修繕〕

問 豪雨の度に、破碎機が故障する可能性は。

答 破碎機は汚水の中ごみを破碎し、管のつまり防止を図るもの。7月14日の豪雨による施設への浸水の影響もあるが、経年劣化もあり予算計上。

平成28年度大口町一般会計決算認定

〔財政状況〕

問 収支状況は。

答 法人税関係の収入の変動が財政運営に影響する。そのため、経常的な支出が増加していかないように努めている。

〔基金の運用〕

問 現在の基金の運用方法は。

答 基金は1金融機関に対し、5億円を1口として運用。マイナス金利のため、国債では運用していない。

〔国道41号の工事〕

問 国道41号の6車線化に伴う、外坪地区の高架部分はどうなるかという声があった。様々な手段で、住民に知らせてほしい。

答 平面の交差点になるが、現時点では広くPRはしていない。供用開始時期などが決まり次第、PRしたい。



まぜればごみ 分ければ資源
(資源リサイクルセンター)

〔児童センター〕

問 子育て支援センター開設後の児童センターの役割は。

答 児童センターは、夏休みは小学生が多く利用。北保育園にある子育て支援センターが未就園児の親子を受け入れつつ、日頃は各地域の児童センターが居場所を提供するなど、特色を生かし、連携していきたい。

〔資源のリサイクル〕

問 燃やすごみを減らし、より資源化するには。

答 平成28年度から剪定枝などを収集する有機資源保管所が2か所になり、利用者が増え、再利用が促進されている。生ごみの水切り、プラスチック容器包装などの分別方法を啓発する。

〔母子保健事業〕

問 他の健診と比べ、2歳・2歳6か月児の歯科健診の受診率が低い。

答 健診は毎月実施。予定日に受診できなかった場合は翌月以降も受診可能であることを周知し、受診率の向上に努めたい。

〔学校給食〕

問 給食の栄養価の充足率は。

答 中学校の充足率が、国基準より低い。カルシウムを含むヨーグルト、食物繊維を含む海藻類、鉄分を含むプルーンなど、食品を選択して工夫していきたい。

〔リフレッシュリゾート施設利用助成〕

問 利用状況が年々、減少している。アンケートを実施しては。

答 引き続き、広報、各種の窓口にはパンフレットを置き、目に触れるように啓発。アンケートも視野に、利用者増加に向けて検討したい。



トンネルから平面交差点に変更予定
(国道41号 外坪地区)



残さず食べて元気な体をつくってほしい

賛否の分かれた議案 他の町提出11議案と議員提出4議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

| 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | 結果 | | | |
|---|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|-------|----|----|
| | 船戸 | 吉田 | 岡田 | 酒井 | 鈴木 | 大竹 | 伊藤 | 柘植 | 齊木 | 丹羽(孝) | 宮田 | | 丹羽(勉) | 木野 | 倉知 |
| 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 道路予算整備の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |

(議長は裁決に加わらないため空白)

賛否が分かれた3議案の討論要旨を左のとおりです

反対討論

吉田 正

国が個人情報管理することへの懸念や個人番号の流出に対する不安、制度自体の問題点もある。プライバシー侵害の危険。

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

賛成討論

大竹伸一

予防接種や就学援助費の手続きを正確・公正に行うために必要。公的書類の取得が不要になるなど、申請者の利便性もあり賛成。

反対討論

吉田 正

3歳未満児の受入れ増、保育料の軽減などの子育て支援事業、高校生の奨学金や無料塾などの制度は評価。

敬老祝い金の実質的な廃止、すくすくサポート事業の利用料の改善、国民健康保険制度の問

題点を指摘し反対。

平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

賛成討論

大竹伸一

国・県の補助制度を有効に活用。一般会計・特別会計とも、適切に予算執行し、処理されている。

反対討論

吉田 正

もともとの補助率自体を守られていない。国の無駄使いをやめ、住民生活に結び付くための予算の増額・確保を求める。

道路予算整備の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

賛成討論

船戸光夫

国道41号6車線化に伴う周辺町道の整備や橋りよつの長寿命化などの事業の継続のために必要。

9月議会に提出された1件の請願と3件の陳情は、所管の常任委員会で審査しました。

【請願】

・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書

(採択)

請願者

尾北地区教職員組合

執行委員長 野口和敬

他85名

紹介議員

鈴木義彦

【陳情】

・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

(採択)

陳情者

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

進議員連盟

会長 板垣 一徳

(採択)

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

議員提出議案

・議会の権限に属する事項中町長の専決処分事項

(全員賛成で議決)

・4議案を、議会から国や県へ送付しました。

・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

(全員賛成で議決)

・国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(全員賛成で議決)

・愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

(全員賛成で議決)

・道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

(賛成多数で議決)

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

8議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

| | |
|------|---|
| 伊藤 浩 | 可燃ごみのカラス対策は …………… P8 公共施設のトイレの洋式化を |
| 船戸光夫 | 空き地の適正管理に関する条例の制定を …………… P9 防災 学共・集会所を地域避難所に指定を |
| 鈴木義彦 | 堀尾跡公園の案内看板設置を …………… P10 五条川 越水などの被害を食い止める手段を |
| 丹羽 孝 | ICT 投資効果の目に見える公表を …………… P11 教育のICT 小中学校への投資は十分か |
| 大竹伸一 | 道路標示 グリーンベルトの設置効果は …………… P12 高齢者の見守り 認知症サポーターの養成を |
| 柘植 満 | 防災・減災 女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの作成を … P13 「歯と口腔の健康づくり推進条例」の制定を |
| 吉田 正 | 小規模企業・中小企業振興条例の制定を …………… P14 避難所の開設基準の明確化を |
| 岡 孝夫 | 短時間豪雨 今後の被害見込みは …………… P15 豊三線は高規格化(全面改修)を |

一般質問

追 跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

平成28年9月定例会

鈴木義彦

老朽化した給食センターの建替えは

問 すでに28年が経過し、老朽化が進んでいる。給食センターの建替えは、具体的に進んでいるか。

答 計画的に建替えを行う必要があると考えている。時期については、運営など、ソフト・ハードを含めて検討していく。

柘植 満

日常生活用具給付事業に「大活字図書」の導入を


問 弱視の方にとって、大活字図書は購入費用が高額。読書を楽しめるよう、給付事業の導入を。

答 本町の給付事業のうち、視覚障がい者用図書は、点字図書のみが対象。今年度の見直しの中で、視覚障がい者図書の内容も検討したい。

こうなった


給食センターの建物は建築から29年経過しているが、鉄骨造の耐用年数以内のため、メンテナンスに配慮しながら利用していく。

質問者の満足度 他では異物混入等の事例をよく聞く。老朽化した給食センターの建替えを早急に進めてほしい。

 **がっかり**

平成29年4月から給付事業の対象を一部拡大し、視覚障がい者用の図書として、「大活字図書」、電子図書の「DAISY(デージー)」を加えた。

質問者の満足度 弱視の方に、読書を楽しむ機会が増えるのを願っています。

 **にっこり**

可燃ごみのカラス対策は

町長 各地域に対応した方法も検討したい



伊藤 浩

伊藤

カラス被害の多い場所との特徴は。

産業建設部長

8月現在、「月・木」ルートで16か所、「火・水」ルートで12か所、「水・土」ルートで7か所、計35か所で発生。

カラスネット対策を行っている場所での被害が多い。

伊藤

カラスネットの正しい使い方とその広報は。

産業建設部長

再利用できないざつ紙

で生ごみを隠す、容易にごみを引きずり出せないよう、囲み等でネットとごみ袋の間に空間を設ける対策を広報している。



河北区のごみ置き場の工夫

伊藤

対策には、試行中の折りたたみ式の

ごみボックスや従来のカラスネット、行政区の特色ある取組みの3方式を、地域の特性に応じて併用した方がよいと思うが。

町長

住宅が密集している地域には、その場所に合った対策がある。今後、各地域に対応した方法も検討していきたい。

公共施設のトイレの洋式化を

部長 各施設を順次、整備する

伊藤

小中学校のトイレの洋式化率と整備財源は。

生涯教育部長

南小が76%、北小が68%、西小が39%、大口中学校が88%、全体では72%。整備財源としては、国の学校施設環境改善交付金がある。

伊藤

年間利用者が多い学共に、順次、洋式トイレを設置できないか。

地域協働部長

利用状況をみながら計画を立てている。

伊藤

まず、トイレの洋式化が不十分な小学校や避難所を、次に利用者数が多い学共施設の順に整備を。

生涯教育部長

西小は、優先的な課題として取り組みたい。避難所となる施設は、

災害時用のマンホールトイレなどと併せた対応を考えている。

学共は、1施設を除き、1階部分は男女とも1基は設置済。2階トイレと残る1施設は、修繕計画に基づき順次、整備する。



改修が望まれる西小のトイレ

空き地の適正管理に関する条例の制定を

部長 導入の考えはない

船

所有者が適正管理しない空き地は、雑草が繁茂し、アレルギーの原因や交通の妨げに、対策は。

産業建設部長

所有者以外断で除草できない。所有者には、まずは文書で依頼し、改善されない場合は自宅を訪問するなどに対応している。



空き地周辺の住民は困っている

船

空き地の適正管理のため、町が所有者の代わりに強制的に撤去等を行う「行政代執行」を定めた条例の制定を。

産業建設部長

町が代執行した後の経費の徴収方法などの問題から、現在のところ導入する考えはない。



船戸光夫

引き続き、所有者の状況を把握しながら、対策を提案するなど対応していく。

防災

学共・集会所を地域避難所に指定を

部長 地域主体の運営マニュアルが必要

船

災害時、住民は身近な学共や集会所に集まる傾向がある。「地域避難所」としての指定、運用は。

地域協働部長

地域避難所の開設・運営には、地域の方の力が不可欠で、マニュアルが必要。

町としては、情報提供・

協力しながら、地域が主体となった運営マニュアルの作成を支援したい。

船

小中学校が避難所に指定されているが、教職員は運営を担うのか。

教育長

各学校では、児童生徒が生活しており、まずはその安全を最優先。緊急事態には、教員も運営に関わる。

船

住民の自助・共助の意識が必要。避難所運営訓練で、間仕切りパーティションの設置などの訓練をしている自治体もあるが。

地域協働部長

昨年度の北地域自治組織の訓練では、職員も兼ねた。

今年度も各地域で訓練が予定されている。徐々にいろいろな地域の方が参加できるように進めていきたい。



災害への備えを地域でも (出展：愛知県HP「防災・減災お役立ちガイド」)



鈴木義彦

堀尾跡公園の案内看板設置を

町長 堀尾吉晴公の史実をまとめた段階で考えたい

鈴木 堀尾跡公園は、松江市との姉妹提携により訪れる人が多くなり、注目を集めている。案内看板は、町内に何か所あるか。

産業建設部長 道路の交差点に「裁断橋物語 金助とその母 ゆかりの地」などはあるが、堀尾跡公園を案内する看板は設置していない。



史跡には看板があるが

鈴木 史跡などには、案内を兼ねた看板が多く見られる。堀尾跡公園の案内看板の設置を。

町長 堀尾吉晴公に関し、松江市と安来市、本町で共同研究会を発足させ、調査・研究している。

今後、吉晴公の史実をまとめた段階で、国道41号を含め、案内看板の設置を考えたい。

五条川

越水などの被害を食い止める手段を

部長 愛知県に対し、対策を要望する

鈴木 7月14日の集中豪雨では、御供所地区の五条川の越水を始め、多くの被害が発生。

五条川の堤防のかさ上げ工事など、今回のような事態を事前に食い止める手段が必要。

産業建設部長 仮に堤防の一部で、かさ上げ工事をして、その箇所での越水は防げるが、他の箇所で越水が繰り返されることが想定される。

被害にあった方もいるため、愛知県に対し、越水しやすい箇所の対策を要望する。

鈴木 川の流れをよくする効果がある浚渫工事を。

産業建設部長 五条川を始め町内の河川では土砂が堆積している状況がある。通水を阻害する危険箇所は、愛知県に対し要望したい。

鈴木 秋葉小橋付近の尾北自然歩道では、増水で桜が倒れた。護岸対策は十分か。

産業建設部長 桜の老朽化で、同様な事例が発生する可能性が高くなる。桜の剪定を行い、大雨の際の巡回により早期対応したい。



五条川の増水で倒れた桜

投資効果の目に見える公表を

部長 システム更新時には公表を目指す

丹羽 ICT投資額は。

丹羽 大口町くらしマップに避難所が載っているが、災害時に開設された避難所がどこか分からない。

丹羽 一般会計予算の2%を超す投資の効果は、町民も知りたいと思う。

総務部長 下表のとおり。

総務部長 今後、表示ができるように改善していきたい。

総務部長 現在でも個々には評価を行っているが、全体での効果判定はしていない。システム更新時から公表できると考える。

丹羽 国や県はコスト削減目標を約30%としているが、本町の目標は。

丹羽 議会のICT投資への考えは

総務部長 議会と町が同じ歩調で、事務が効率的になるよう検討しながら進めていければと考える。

総務部長 数値目標設定、効果判定はしていない。

丹羽 議会のICT投資への考えは

総務部長 議会と町が同じ歩調で、事務が効率的になるよう検討しながら進めていければと考える。



丹羽 孝

大口町ICTシステム費実績推移 単位:万円

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年予算 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 電子自治体化推進事業 | 869 | 619 | 583 | 820 |
| 庁内LAN運用事業 | 2,176 | 2,410 | 5,570 | 2,821 |
| 電子計算運用事業 | 14,739 | 15,520 | 10,799 | 14,869 |
| ICTシステム費合計 | 17,784 | 18,549 | 16,952 | 18,510 |
| 対一般会計構成比 | 2.1% | 2.2% | 2.0% | 2.3% |

教育のICT

小中学校への投資は十分か

部長 他市町と比べ優位と考えている



授業に導入が進んでいるタブレット

丹羽 文部科学省は、本町の教育のICT投資の状況を下表のように公表している。愛知県の平均に比べ、電子黒板の整備率が低い。

生涯教育部長 電子黒板機能付きプロジェクターを本年度、4台導入予定。

丹羽 小中学校へのICT投資は十分か。

生涯教育部長 全小中学校の教室にパソコンとプロジェクター又はテレビモニターを整備。他市町に対し、大きな優位と考えている。

丹羽 東京都渋谷区では全員に1人1台のタブレットを導入。本町は。

生涯教育部長 普通教室64学級全部に整備すると、試算では4億9400万円ほど必要。現時点では大規模な整備は難しい。

丹羽 ICTの進展で今後10〜20年先には就業環境が大きく変化することが想定される。

大口の子どもたちが大口で育ってよかったと思える教育環境の整備を要望する。

教育用ICT機器設置状況

(出典:文部科学省調査) (平成28年3月1日現在)

| 区分 | 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数 | 普通教室の電子黒板整備率 | 普通教室のLAN整備率 | 普通教室の無線LAN整備率 | デジタル教科書の整備率 |
|-----|----------------------|--------------|-------------|---------------|-------------|
| 大口町 | 6.5 | 2.1% | 100.0% | 0.0% | 25.0% |
| 愛知県 | 8.0 | 16.8% | 95.9% | 23.0% | 55.6% |

ICT

「インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー」の略語で、情報通信技術を意味し、「IT」とほぼ同意語



大竹伸一

道路標示

グリーンベルトの設置効果は

部長 速度抑制・注意喚起に一定の効果がある

大竹 「グリーンベルト」は、歩・車道区分のない道路で歩行者を守る。設置効果は。

大竹 道路には、区画線など様々な標示があるが、認識しづらい、効力が発揮されていないようなものもある。町道での管理は。

産業建設部長

町は外側線、グリーンベルト等を、公安委員会は黄色のセンターライン、横断歩道、停止線等を、それぞれ設置・管理している。



消えかかっている「止まれ」の道路標示

大竹

道路には、区画線など様々な標示があるが、認識しづらい、効力が発揮されていないようなものもある。町道での管理は。

産業建設部長

平成20年度から設置開始。車両の速度抑制・注意喚起に一定の効果があると考ええる。

大竹

グリーンベルトを新設する条件は。

産業建設部長

主に通学路に設置。現在のところ、地区からの新たな要望はないが、設置の際は、公安委員会と協議の上、設置する。

高齢者の見守り

認知症サポーターの養成を

部長 より一層の啓発に努める

大竹 認知症の方やその家族に可能な範囲で手助けする、やさしい地域づくりが必要。その働きかけは。

健康福祉部長

平成20年度から「認知症サポーター養成講座」を実施。

家族や地域の方がいち早く気づき、アプローチできるよう、認知症の知識と理解が必要。

大竹

「ステップアップ講座」の受講率が低い。

低い。

基礎的な「認知症サポーター養成講座」を含め、受講者を増やす手立ては。

健康福祉部長

近隣で「ステップアップ講座」を実施している

のは本町のみ。

今後、講座のより一層の周知啓発に努めたい。

大竹

徘徊者の見守りのため、家族がその

居場所をスマホで受信・把握できる機器の導入は。

健康福祉部長

徘徊者の早期発見には、

地域の方の声かけが大切

と考え、模擬訓練の実施

や47事業所と協定を結び、情報共有を図っている。

過去、GPS機能付きの機器を活用した事例があるが、認知症の方が常

に身につけられず、機能しなかった。再度、試行

して効果を検証したい。



認知症に対する理解を深めたい

防災・減災

女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの作成を

部長 「まちのカレンダー」で啓発する

柘植 防災・減災対策には自助も必要。□

ーリングストック法・パツククッキングを啓発すべき。

地域協働部長 トイレット懐中電灯などの非常時持出品も併せ、「まちのカレンダー」や広報で紹介したい。

柘植 「災害対応型カッブ式自動販売機」

は、粉ミルク調乳のお湯を提供できる。販売機の設置及び関係機関との協定を。

地域協働部長 販売機の利用方法等を用方法等を研究後、設置するかどうかを検討。

柘植 女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの作成を。

地域協働部長 ハンドブックと違い、

カレンダーは生活に身近で、毎年度、新情報に更新でき、有効。

女性の意見を参考にし「まちのカレンダー」を作成したい。



柘植 満

ローリングストック法

定期的に食べて、食べた分を買ひ足し、常に一定量の食料を備蓄しておく方法。

パツククッキング

ポリ袋に食材を入れて、湯せんで火を通す調理法



下ごしらえしてビニール袋に 電気ポットで温める

「歯と口腔の健康づくり推進条例」の制定を

部長 町が定めた目標に取り組んでいる

柘植 歯と口腔の健康は全身の健康に繋がる。現在、フッ化物洗口は小学3年まで実施。小学6年まで必要では。

生涯教育部長 平成26年度、小学1年を対象に開始以降、順次対象学年を拡大。昨年度、関係機関と3年間の実施結果を協議、引き続き小学3年までを対象とし、31年度に再度検証する予定。

健康福祉部長 糖尿病予防教室、老人クラブの出前講座等で、歯科医師や歯科衛生士による講演を実施。引き続き、乳幼児・学童期からの啓発に力を入れる。

健康福祉部長 条例の制定自体は否定しないが、本町は「健康おおぐち21第二次計画」の目標に「歯の健康分野」をにおいて取り組んでおり、これを指針としていきたい。

健康福祉部長 歯に関する勉強会、講演会の取組みは。

健康福祉部長 糖尿病予防教室、老人



大阪府吹田市の歯と口腔の健康づくりの取組み
(出展：市報すいた 平成26年11月号)

小規模企業・中小企業振興条例の制定を 部長 平成31年度の制定を目指す



吉田 正

吉田 6月議会で、条例の制定について商工団体の意見を聞きたいとの答弁があった。町は、条例を制定する気になったのか。

産業建設部長 小規模企業と中小企業の両方を入れた条例にするのかも含め、本年度及び平成30年度に、商工会を始め関係機関と勉強会や検討委員会等を開催し、31年度の条例制定を目指す。



町財政の一部は町内の多くの企業に支えられている

避難所の開設基準の明確化を

部長 寝具などの持参を強制はしていない

吉田 8月7日に避難所が開設された。寝具などの持参を求めるのは、緊急時にそぐわない。災害後、何日か経って自宅に戻り、自分の寝具を利用するなら理解できる。

緊急時の「避難指示・避難勧告」とは異なり、非常時持出し品などの持参を案内したもので、強制したものではない。

吉田 住民から見ると、避難の仕方の区別がつかず、町が伝えたいことが伝わらない面がある。

適切な避難の呼びかけの仕方を心がけてもらいたい。

避難所の開設基準の考えを改めるべき。

地域協働部長 台風であったため、進路や降雨、強風の状況がある程度把握でき、影響時刻等を予測できる状況だった。

そのため、安全に避難できる日没前の時間帯に自宅を過ごすことに不安がある方を対象に、「自主避難所」を開設した。



分かりやすい避難方法で被害を最小限に
(写真は7月14日の五条川 天神橋付近)



岡 孝夫

短時間豪雨

今後の被害見込みは

部長 ハザードマップの想定に収まる

岡 今般の短時間豪雨による町内の被害状況は。

地域協働部長 左記のとおり。

岡 気象庁の「アメダスで見た短時間豪雨発生回数」の長期変化についてによれば、短時間豪雨発生回数は増加。丹羽消防署の雨量記録でも「日最大雨量」と「時間最大雨量」が増加傾向。これらを改めて認識する必要がある。

今後の被害見込みは現状と比べてどうか。

8月28日現在の把握状況

平成29年7月14日(金)

- 【越水】2河川
五条川(北河原橋~大之瀬橋 付近一帯)
合瀬川(長蔵橋~八幡橋 付近一帯)
- 【民家床下浸水】8戸(うち消毒3戸)
- 【冠水及び通行止】4路線
豊田128号線(大口クリーンセンター東)
中小口70号線(合瀬川右岸)
中小口77号線(新宮一丁目)
高岡線(国道41号~萩島一丁目)
- 【公共施設浸水】1か所(堀尾跡公園アンダーパス)
- 【民間浸水】5事業所
- 【倒木】1本(桜:甚佐橋~秋葉小橋:尾北自然歩道)
- 【停電】(雷)河北、仲沖、中小口、萩島の一部、下小口、竹田、伝右、丸の一部
(隼)大屋敷、大御堂、御供所、高橋、竹田、豊田、奈良子、堀尾跡、丸の一部

平成29年8月18日(金)

- 【越水】2河川
五条川(北河原橋~大之瀬橋 付近一帯)
合瀬川(長蔵橋上流~八幡橋下流 付近一帯)
- 【民家床下浸水】12戸(うち消毒10戸)
- 【冠水及び通行止】5路線(うち通行止め 2路線)
住宅2号線(余野学共からさつきヶ丘防災センター南側)
※一部県道外坪扶桑線含む
豊田127号線(雇用促進住宅北側)
上小口66号線(上小口一丁目)
豊田128号線(大口クリーンセンター東)
中小口77号線(新宮一丁目)
- 【公共施設浸水】1か所(堀尾跡公園アンダーパス)
- 【民間浸水】2事業所(7月14日と同一)



アメダス地点で1時間降水量が80mm以上となった年間の発生回数(1,000地点あたり、9月の発生回数が標準)。赤い直線は期間にわたる変化傾向を示す。

地域協働部長 今後数年、短時間豪雨の影響は、平成26年3月の「防災ハザードマップ」の想定に収まると考えている。

一般質問 岡 孝夫



路面にみみず腫れのような跡。町道が悲鳴を上げている？ (豊田三丁目 信号交差点)

豊三線は高規格化(全面改修)を 現状に即した舗装修繕を予定

岡 本町南端には、近隣市を含め、倉庫・物流業者が多く立地し、トラック・トレーラー等の大型車両が頻繁に通行している。

産業建設部長 区からの全面改良要望はないが、騒音等は認識している。

町道豊三線では、大型車両が通行する際、部分補修部の繋ぎ目等で「ドスン・ガタン」といった音が発生し、騒音問題化していると思うがどうか。

産業建設部長 今後、新たな計画策定に向け調査を行い、現状に即した舗装修繕を予定している。

7月14日の集中豪雨 被災現場を視察

議会は、平成29年9月7日(木)、7月14日の集中豪雨で被災した現場を視察しました。

集中豪雨により、町内では、停電や民家の床下浸水、道路の冠水などが発生し、特に、御供所地内での五条川の越水がテレビや新聞で大きく報道されました。

近年、全国的にみても短時間豪雨は増加傾向にあります。今回の事案を教訓として、日頃の備えの重要性を改めて認識し、引き続き、災害に強いまちづくりに取り組む必要があります。



穏やかな流れに戻った五条川



堀尾跡公園内 浸水した尾北自然歩道のアンダーパス
(くぐり抜けの通路)

議会アンケート ご協力ありがとうございました

議会は、町民の皆さまの町議会に対する考え方やご意見をお聞きするため、アンケート調査を実施しました。

アンケートにご協力いただいた皆さまには、感謝を申し上げます。議会では、今回の調査結果を分析し、議会運営に反映するとともに、より一層の議会改革を推進します。

なお、アンケート結果の概要や詳細は、今後、議会だよりや議会のホームページで公開する予定です。また、いただいたご意見・要望のうち、町に対するものは、町に伝えます。

1 調査の方法

- | | | | |
|-------|------------|-------|---------------------------|
| ①調査地域 | 大口町 | ②調査対象 | 18歳以上の町民 |
| ③対象者数 | 2500人 | ④抽出方法 | 平成29年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出 |
| ⑤調査方法 | 郵送による配布・回収 | ⑥調査期間 | 平成29年7月1日～7月20日 |

2 調査の内容

- ①町議会への関心と認知度
- ②議会・議員の活動内容の評価
- ③議員の定数、報酬等
- ④議会の情報公開と発信

3 回収状況

| | |
|----------|-------------|
| 発送数 | 2500 |
| 有効回収数(率) | 1138(45.5%) |



ご協力ありがとうございました



回答いただいたアンケート

総務建設常任委員会は8月2、3日に委員7人と職員4人で、雲南市及び松江市の取組みを視察しました。

島根県雲南市

「小規模多機能自治の取組み」

視察地の概要

雲南市は、平成16年11月、6町村の合併で誕生した、人口約3万9千人、面積553・2平方キロメートルの市です。

小規模多機能自治とは

「自分達の地域は自分達で」と、地域の課題を、住民の参画と協働で横断的に解決する仕組みです。

小学校区単位で地域自主組織を設立

雲南市は、中山間地域で、全域が過疎指定され、人口減少と少子高齢化が危惧されています。

市内には500の自治会がありますが、「地域の諸課題には様々な団体との連携が必要」と、概ね小学校区単位で、30の「地域自主組織」が設立されています。

自治会と地域自主組織の関係

自治会は慣習的な行事や活動を、地域自主組織は地域の課題解決を主とした活動を担い、どちらも必要不可欠な存在です。



雲南市役所での研修



旧公民館を自主組織の拠点施設に

地域自主組織「海潮地区振興会」

海潮地区は、人口1700人、500世帯、15自治会で構成された、高齢化率41・4%の地区です。

平成17年に地域自主組織として登録。

振興会は指定管理者の指定を受け、交流センターを拠点に事業展開。生涯学習、地域福祉、地域づくりを活動の基本とし、自治会等、地縁の組織の「まとめ役」です。

役員は会社等を退職した高齢世代が中心で、後継者不足や若い世代の参加が課題です。

所感

雲南市では、市との協働で30の地域自主組織が地域の諸課題に取り組みられています。

組織の運営と活動は参考とすべき点が多く、地域性は違いますが、本町の「地域自治組織」のあり方を考えさせられました。

島根県松江市

「議会のICT化への取組みとタブレットの活用」

視察地の概要

松江市は、人口20万5千人、面積572・99平方キロメートルの市で、

平成27年8月、本町と姉妹都市提携を結び、民間や自治体間で活発な交流が行われています。

タブレット導入の経過

平成26年6月、議会でタブレットの活用を提案。先進自治体視察、検討会議を経て「情報端末使用ガイドライン」を策定。

平成28年6月、タブレットを導入しました。

ただ、タブレットを導入しているのは議会のみで、市執行部は導入していません。

情報の共有方法

議員は、公開可能な資料のみを、インターネット上の「共有フォルダ」から閲覧・ダウンロードできます。閲覧には一部利用制限のある無償ソフトを使用しています。

今後の課題

タブレットを持たない議員、持っても使用

所感

本町議会が検討している方法とは異なりましたが、ICT化に向けた基本的な考え方は同じで、引き続き議員間で理解を深めていきたいと考えています。



松江市議会のタブレットの運用を聴く

文教福祉常任委員会は8月2、3日に委員6人と職員2人で、越前市及び栗東市の取組みを視察しました。

福井県越前市

「夢ある子ども育成事業」

視察地の概要

越前市は、人口約8万3千人、面積230・7平方キロメートルで、伝統産業と先端産業が集積した、モノづくりのまちです。

夢や目標を持っている子どもが、少ない

平成19年度の「全国学力・学習状況調査」等で全国トップクラスだったものの、夢や目標を持つ児童生徒が少ないことが判明しました。

「JUNIORプロジェクト・夢の教室」を事業化



越前市役所にて

手だてを模索する中、日本サッカー協会の「こころのプロジェクト・夢の教室」を知り、20年のモデル授業の実施以降、現在も事業を継続しています。

「夢先生」(講師)が、「夢に向かって努力することの素晴らしさ」を自らの体験により伝えることで、現在、夢や目標を持つ割合は、全国平均より高くなっています。

モノづくり出前講座

市内企業からの提案を学校側が選択し、モノづ

くりのノウハウ等を子どもたちが教わるしくみです。想像力の育成、企業への理解を深める機会等になっていきます。

所感

本町も、モノづくりのまち。すでに指定管理者によるスポーツ教室や少年少女発明クラブ等があります。今回の視察を踏まえ、夢に向かって努力することの素晴らしさやモノづくりを学ぶ機会をさらに広げていきたいと思えます。

滋賀県栗東市

「栗東100歳大学」

視察地の概要

栗東市は、人口約6万8千人、面積52・69平方キロメートルで、高齢化率は県内で最も低い18・4%です。

市民自らが社会の状況を

理解し、「自助・互助」を目指す

平成13年に誕生した市ですが、高齢化の進展で、介護保険だけでは支えきれない危機感を持ちました。

そのため、市民自らが社会の状況を理解し、健康づくりや助け合いなど、「自助・互助」の関係構築を目指す「100歳大学」を開校しました。

100歳大学の概要

健康・生きがいづくり、福祉、地域、幸せづくりを系統立て、シニア世代



栗東市の取組みを聴く

(対象は65、66歳)に学び直しの場を提供。1年間、講義と実技・テーブルトークで学ぶもので、授業料は年間8千円。

所感

退職後の長い人生を、世話をされる側でなく、自らが地域の担い手となる高齢者が増えれば、結果的に健康寿命を延ばし、医療費の抑制に繋がるという、「自分よし」「地域よし」「社会よし」の「三方よし」との考え方です。

100歳大学で学んだことを、地域で活かしていくための後押し等、さらなる取組みの必要性を感じました。

議会広報常任委員会は 受講し、埼玉県小川町議
 7月5、6日、委員6人 会の議会だよりの編集等
 と職員1人で、全国町村 の取組みを視察しました。
 議会議長会主催の研修を

町村議会広報クリニック

講師：豊田健一氏(「月刊総務」編集長)

読まれて、伝わり、行動
 に繋がる議会広報を

編集アドバイス

議会だより211号で
 助言を受けました。

【よい点】

次の4点を常にイメー
 ジしながら編集すること
 が大切であると研修しま
 した。

① 広報紙は、あくまでも
 手段
 ・ 予算関係の説明を掲載
 している。

【改善点】

② 広報紙の限界を意識
 ③ コミュニティの中の広
 報紙
 ・ 「大見出し」に、記事
 の内容を簡潔に示した
 リード文を。

④ 読者の目線、親切的誌
 面

・ 文章と関連写真を繋げ、
 分かりやすく。



助言を受けた211号

埼玉県小川町議会

人口約3万800人、面積60.36km²



小川町役場にて

視察地の概要

小川町は、和紙の産地
 として「細川紙」がユネ
 スコ無形文化遺産に登録
 されています。

斬新な紙面デザイン

従来の紙面を全面的に
 見直した結果、昨年度、
 「町村議会広報全国コン
 クール」の「編集・デザ
 イン部門」で奨励賞を受
 賞しました。

編集のアイデア

編集段階から印刷会社
 スタッフが参画すること
 で、校正作業を迅速化。
 全面見直しに併せ、6
 段組から4段組とし、読
 みやすい紙面に。
 年4回、四季に合わせて
 て各号の文字色を変えて
 います。

所感

研修で助言を受けた点
 や、小川町議会の取組み
 を生かし、多くの方に読
 んでいただける紙面を目
 指し、委員一同、努力を
 続けます。



78号



斬新に生まれ変わった79号

まちの 元気者

自分で作った新鮮野菜を食べて 健康長寿!

かなえ
河北の鈴木金江さん(87歳)

♪ 趣味は何ですか?

野菜やくだもの、花づくりで、土曜日の朝市で販売もしています。健康のため、グラウンドゴルフ、カラオケなども楽しんでいます。



育てた野菜を朝市で販売



グラウンドゴルフも楽しみのひとつ

♪ 好きな言葉は?

「一日一善」です。周りの皆さんを師と思い、朝、誰にでも「おはよう!」と、手を上げて明るく挨拶します。

♪ 元気な秘訣は?

朝起きたら、畑に向かうのが日課です。部屋の中にいるより外へ出て、声を出すことが健康に繋がります。

♪ 町への要望などありましたら?

皆さんの努力で、安心して生活しており、感謝しています。健康に気をつけて頑張ってください。

取材を終えて

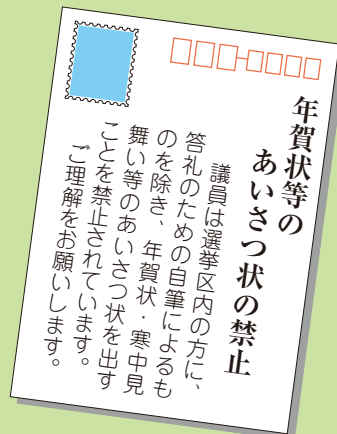
取材中、鈴木さんの目が生き生きと輝いていたのが印象的でした。老若男女問わず会話をされる大先輩。これからも健康・元気で過ごしてください。(大竹伸一)

表紙の写真

親子でGo! でかパンでGo!

秋晴れの中で開催された運動会。でかパンをはいて、親子で力を合わせ、全力で走りました。

息もぴったり!最高の笑顔がこぼれます。



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

12月定例会予定

- 11月27日(月) 提案説明
- 11月30日(木) 一般質問
- 12月 1日(金) 一般質問
- 12月 6日(水) 質疑
- 12月 7日(木) 質疑・委員会付託
- 12月11日(月) 総務建設常任委員会
- 12月13日(水) 文教福祉常任委員会
- 12月20日(水) 討論・採決

※開始時刻は、いずれも午前9時30分から。

手続きは簡単です!
役場3階で住所と名前を書くだけ